

東京ガス株式会社 2008年度 第2四半期決算説明会

2008年11月4日
東京ガス株式会社
代表取締役社長 鳥原光憲

＜見通しに関する注意事項＞

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた東京ガスの経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、原油価格の動向、気温の変動、円ドルの為替相場、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への東京ガスの対応等があります。

決算概況



2008年度第2四半期決算

■ 前年同期比 増収減益

【ガス販売量増・ガス粗利悪化】

工業用を中心としたガス販売量の順調な増加（販売量+264百万m³、+4.1%）
スライドタイムラグ等による粗利悪化

TG分：タイムラグ ▲369億円（未回収額▲86→▲455億円）
料金引き下げ（本年4月）影響 ▲32億円

【退職給付数理差異】

2007年度年金資産運用実績に基づく退職給付
数理計算上の差異費用の増加 TG分：+37億円

【連結子会社の特別利益】

リース会計基準導入に伴う連結子会社の特別
利益発生（+78億円）

（億円未満切捨て）

	FY08 第2Q実績	対前年 同期比
売上高	7,400	+1,031 (+16.2%)
営業利益	▲95	▲426 (▲128.8%)
経常利益	▲114	▲431 (▲136.1%)
当期純利益	▲16	▲214 (▲108.4%)

経済 フレーム	原油価格	為替	気温
FY08	\$119.64/bbl	106.12円/\$	22.1°C
FY07	\$67.93/bbl	119.40円/\$	22.6°C

2008年度通期収支見通し

■前年度比 増収減益

【ガス販売量増・ガス粗利悪化】

工業用を中心としてガス販売量は増加見込み（販売量+282百万m³、+2.0%）
スライドタイムラグ等による粗利悪化

TG分：タイムラグ

▲333億円（未回収額▲702億円→▲1,035億円）

（内 第4四半期 原料費調整特別措置影響 ▲42億円）

料金引き下げ（本年4月）影響

▲97億円

【退職給付数理差異】

2007年度年金資産運用実績に基づく退職給付
数理計算上の差異費用の増加 TG分：+74億円

【連結子会社の特別利益】

リース会計基準導入に伴う連結子会社の特別
利益発生（+78億円）

<下期の収益感度>

原油価格+1\$/bbl	▲11億円
為替 +1円/\$	▲21億円
気温 +1℃	▲63億円

（億円未満切捨て）

	FY08 今回見通し	対FY07実績	
売上高	17,810	+2,936 (+19.7%)	
営業利益	100	▲600 (▲85.7%)	
経常利益	40	▲628 (▲94.0%)	
当期純利益	90	▲334 (▲78.8%)	
経済フレーム	原油価格	為替	気温
FY07	\$78.71/bbl	114.44円/\$	16.6℃
FY08	\$112.32/bbl	105.55円/\$	16.6℃
10月以降	\$105/bbl	105円/\$	—

主要経営目標 2008年度見通し

	TEP	営業CF	ROA	ROE	D/E レシオ	スライドタイムラグ 影響額(単体)
FY06	538億円	2,338億円	5.9%	13.2%	0.66	+72億円
FY07	17億円	1,849億円 (06~07累計 4,187億円)	2.5%	5.4%	0.73	▲702億円
FY08 見通し	▲378億円	1,500億円 (06~08累計 5,687億円)	0.5%	1.2%	0.86	▲1,035億円
現中計 FY10 目標	510億円	06~10累計 11,200億円	5.5%	10.9%	0.6程度	—

- TEP=税引後・利払前利益－資本コスト（投下資本×WACC）
WACC FY07実績:3.6% FY08見通し3.4% FY10目標:3.8%
- 営業CF=当期純利益+減価償却費
- ROA=当期純利益/総資本（期首・期末平均）
- ROE=当期純利益/株主資本（期首・期末平均）

2008年度 キャッシュフロー投入見通し

設備投資	主な件名
東京ガス 1,069億円 (+146億円、+15.7%)	・製造設備:114億円 根岸工場BOG設備等
	・供給設備:785億円 千葉・鹿島ライン 89億円、中央幹線 57億円、 新根岸・横浜幹線Ⅱ期 56億円、 供給管新設 106億円、既存ガス管の入取替 134億円等
	・業務設備等:170億円 システム関連 75億円等
連結子会社計:351億円 (▲106億円、▲23%)	・東京LNGタンカー LNGタンカー建造費 85億円 ・エネルギー・アドバンス コージェネレーションシステム 85億円等
合計 1,420億円 (+40億円、+2.9%)	

- 投融資 430億円 (主な件名:川崎天然ガス発電・扇島パワー・プルートガス田)
- 株主還元策:312億円

総分配性向6割および配当(8円/株)を今後も維持していく方針

※()内は前年同期増減

2008年度資金計画

(億円)

所要資金		資金調達		
設備投資	1,420	自己資金	減価償却等	1,410
その他投融资	430		経常利益	40
決算資金	365		その他	▲525
自社株取得	101		計	925
償還・返済 (うち単体分)	379 (100)	外部資金 (うち単体分)		1,770 (1,740)
計	2,695	計		2,695

※有利子負債：6,690億円（前年度比+1,103億円、+19.7%）

2008年度第2四半期 事業の概況



2008年度第2四半期 事業のハイライト

- ・ガス販売量は工業用を中心に順調な伸び(前年同期比+264百万m³、+4.1%)
- ・家庭用顧客囲い込みのための地域エネルギー新社「東京ガスライフバル」12ブロック(10社)設立
 - 次年度までに合計60ブロック設立。長期的な家庭用ガス販売量の維持拡大を図る。
- ・工業用の一部大口エンドユーザーに対するスライド反映の短期化実施
 - 今年度収支影響(増収+100億円)
- ・川崎天然ガス発電が4月に1号基(40万kW)稼働開始
 - 10月に2基(80万kW)体制へ
- ・東京LNGタンカーが6月にLNG船(6番船)エネルギーナビゲーターを投入
 - オーストラリア、マレーシア、サハリンⅡプロジェクトなどのLNG輸送活用
- ・仙台市営ガス民営化事業に参画検討中
 - 2月の応募提案書締切に向けて精査・検討中

2008年度第2四半期 セグメント別売上高・営業損益

(億円)

	売上高		営業利益	
	FY08第2Q	前年同期	FY08第2Q	前年同期
ガス	5,537 (+858)	4,679	118 (▲427)	545
ガス器具	573 (+25)	548	18 (-)	18
受注工事	207 (▲21)	228	▲9 (▲1)	▲8
不動産賃貸	178 (+3)	175	48 (+5)	43
その他	1,684 (+285)	1,399	46 (+11)	35
合計	8,182 (+1,151)	7,031	222 (▲412)	634
消去又は 全社	▲782 (▲120)	▲662	▲317 (▲15)	▲302
連結	7,400 (+1,031)	6,369	▲95 (▲426)	331

(注) () 内は前年同期増減

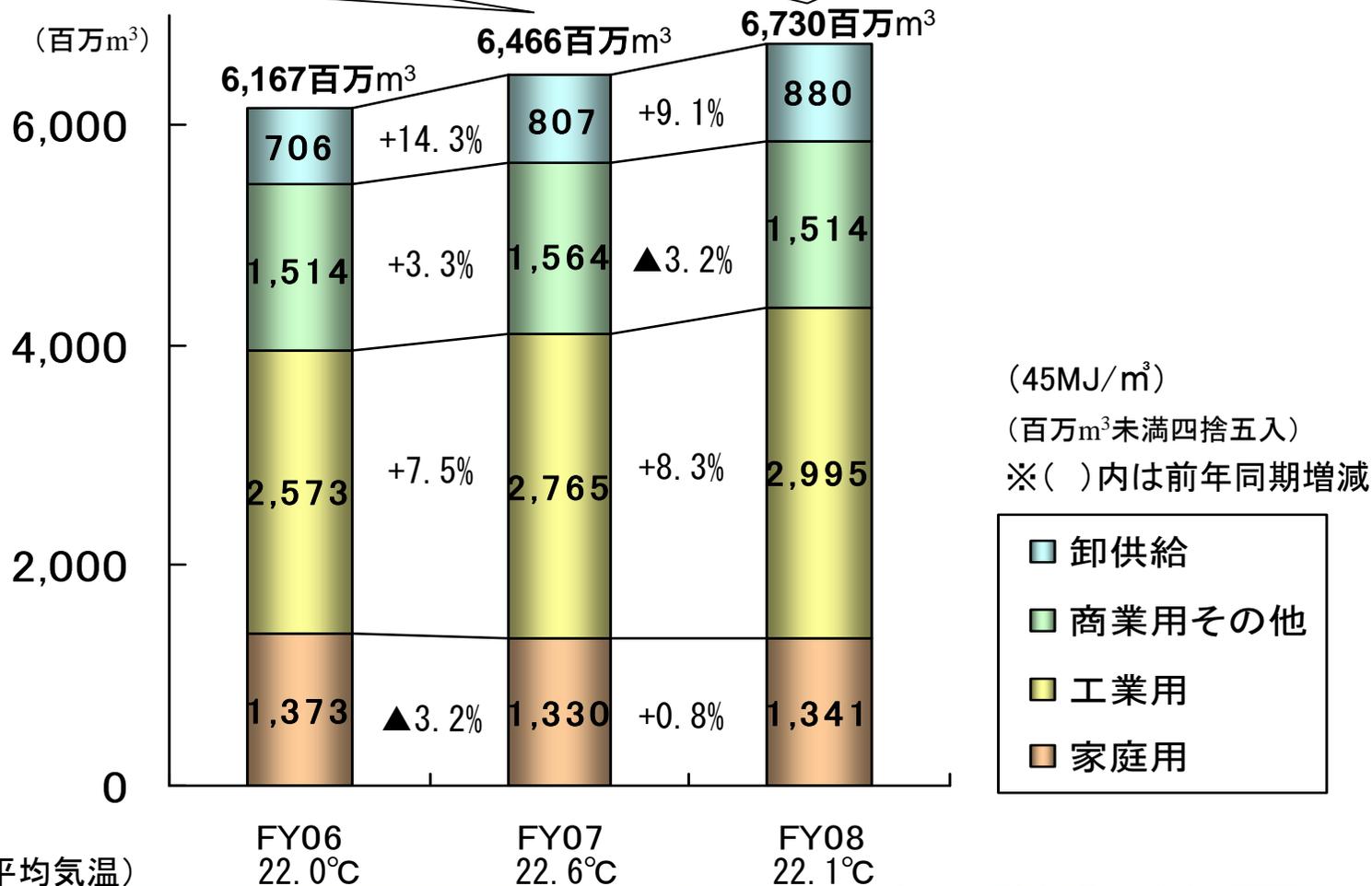
セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおり、営業利益には、配賦不能営業費用を含んでおりません。

2008年度第2四半期 ガスセグメント

売上高 5,537億円(+858億円、+18.4%) 営業利益 118億円(▲427億円、▲78.4%)

前期比 4.8%増(+299百万m³)

前期比 4.1%増(+264百万m³)



2008年度第2四半期 ガス販売量 分野別主な変化要因

家庭用 1,341百万m³ (+11百万m³、+0.8%)

- ・ 気温影響による給湯需要の増
平均22.1℃ (▲0.5℃)
+22百万m³ (+1.6%)
- ・ お客さま数の増加 +21百万m³ (+1.6%)
- ・ その他差異 ▲32百万m³ (▲2.4%)
機器の省エネ効果、住宅の高気密化等
- ・ 主要機器の販売状況 (単体)

(台)	今期	前年比 増減	増減率
ピピッとコンロ	40,085	+5,913	+17.3%
エコジョーズ	32,008	▲978	▲3.0%
ミストサウナ	8,541	+27	+0.3%
マイホーム発電※	1,728	+240	+16.1%

※エコウィル (ガスエンジンコージェネレーション)
エネファーム (燃料電池)

※()内は前年同期増減

商業用その他 1,514百万m³ (▲50百万m³、▲3.2%)

- ・ 気温影響による空調需要の減
平均22.1℃ (▲0.5℃)、▲27百万m³ (▲1.7%)
- ・ その他差異 ▲23百万m³ (▲1.5%)

工業用 2,995百万m³ (+230百万m³、+8.3%)

- ・ 発電専用 +221百万m³ (+7.9%)
既存お客さまの稼働増、新規発電所稼働
- ・ 発電専用以外 +9百万m³ (+0.4%)
金属機械、食料品、非鉄金属分野等での
既存顧客の稼働増、新規顧客の増

卸供給 880百万m³ (+73百万m³、+9.1%)

- ・ 卸供給先の新規需要開発および既存顧客の稼働増
+69百万m³ (+8.5%)
- ・ 供給先事業者の増加 +4百万m³ (+0.6%)
野田ガス07年8月～、館林ガス07年11月～

2008年度第2四半期 非ガスセグメント 主な変化要因

ガス器具

売上高 573億円 (+25億円、+4.5%)

営業利益 18億円 (-億円、+3.2%)

- ・ 集合住宅用TES・GHP販売数量増等による売上増

受注工事

売上高 207億円 (▲21億円、▲9.1%)

営業利益 ▲9億円 (▲1億円、-%)

- ・ 建築基準法厳格化（07年6月施行）等の影響による新設件数の減少
（9.3万件：前年比▲9千件）

不動産賃貸

売上高 178億円 (+3億円、+1.4%)

営業利益 48億円 (+5億円、+12.3%)

- ・ 賃貸売上増
- ・ 減価償却費減による粗利増

※()内は前年同期増減

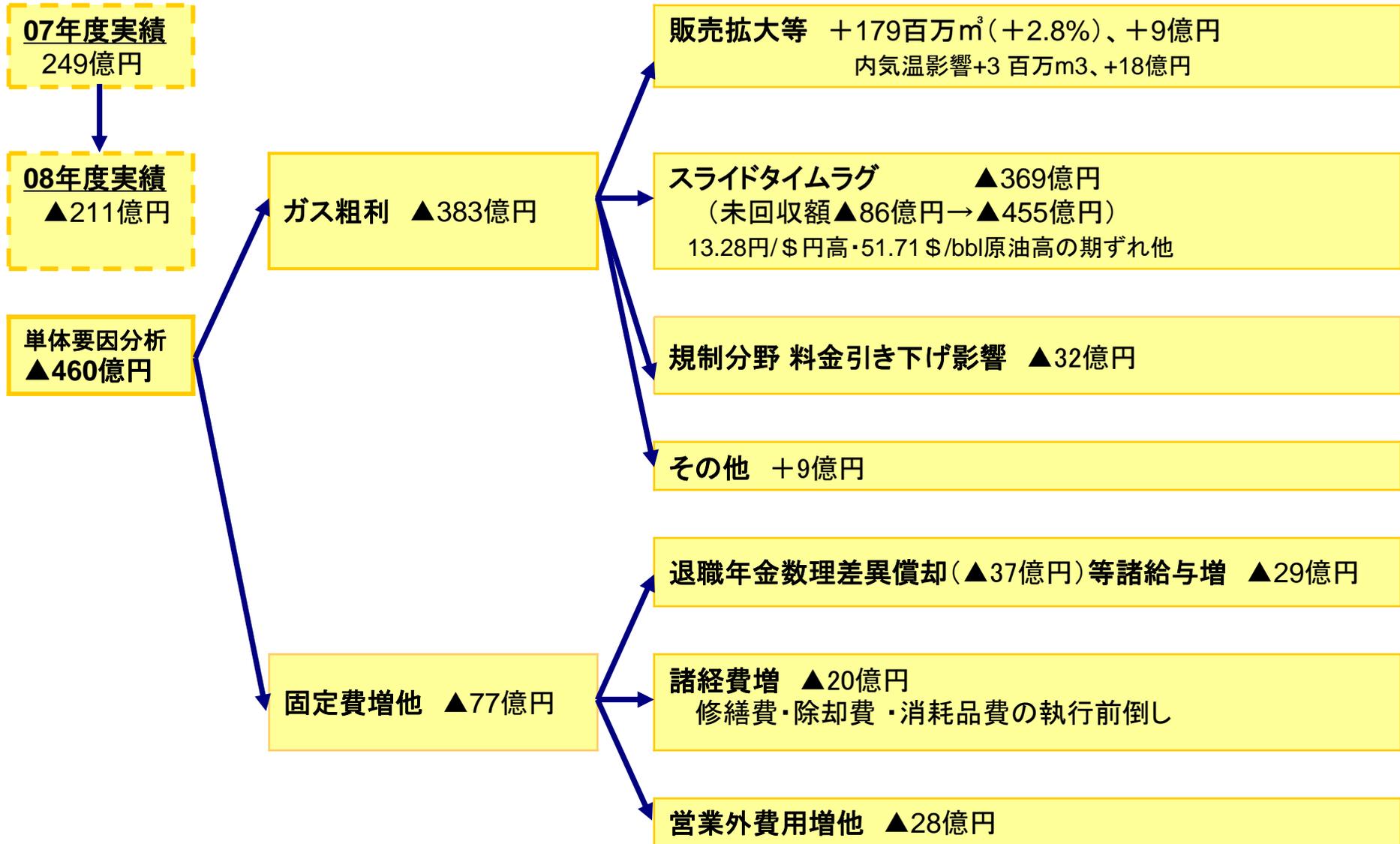
その他事業

売上高 1,684億円 (+285億円、+20.4%)

営業利益 46億円 (+11億円、+28.4%)

- ・ エネルギーサービス事業：
お客さま件数増による売上増
タイムラグによるLNG販売収益悪化
（売上高+156億円、営業利益▲6億円）
- ・ 工業ガス等：単価上昇・販売量増による売上増
（売上高+17億円、営業利益▲2億円）
- ・ LPG等：LPG単価増、販売量増による売上増
（売上高+57億円、営業利益+4億円）
- ・ 電力：川崎天然ガス発電分電力の販売開始による売上増
（売上高+77億円、営業利益+7億円）
- ・ 設備建築・エンジニアリング：
大規模物件の増加によるパイプライン
売上の増
（売上高+12億円、営業利益+7億円）

単体 2008年度第2四半期 経常利益 対前年同期比 減益要因分析





2008年度通期収支見通し補足

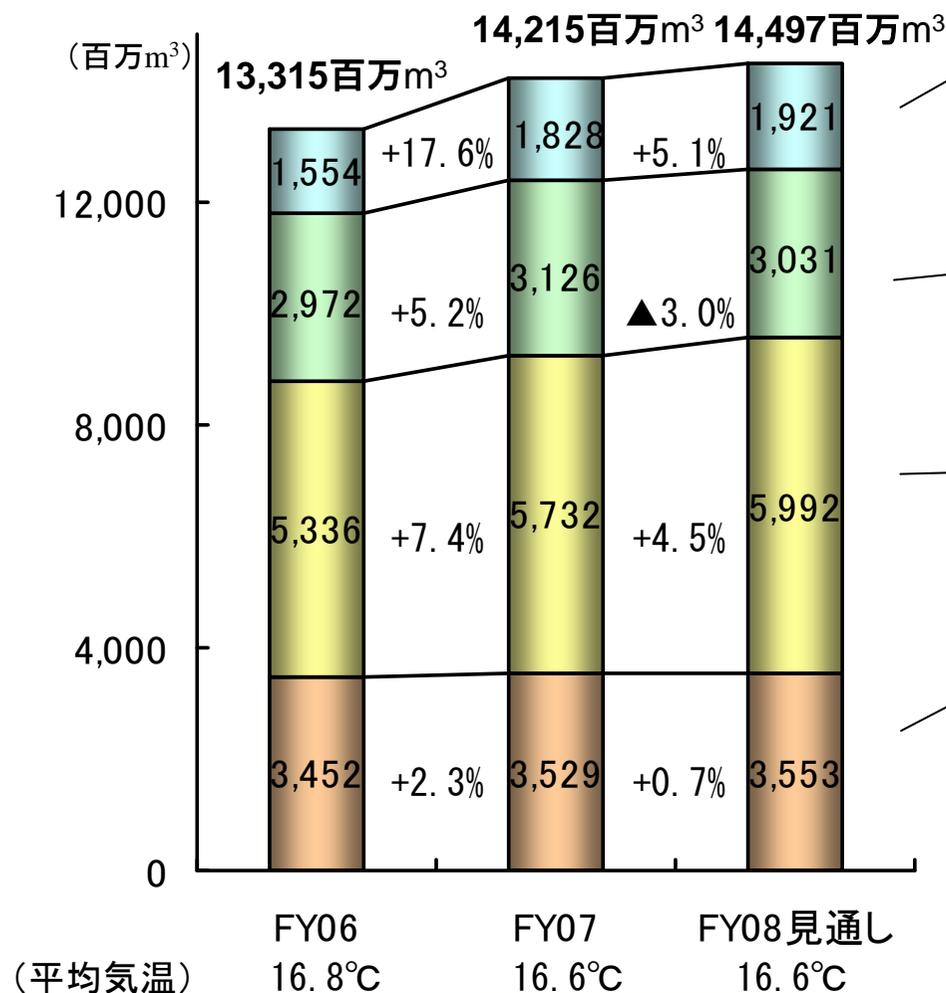


2008年度 ガス販売量見通し(対前年)

前年比 6.8%増(+901百万m³)

前年比 2.0%増(+282百万m³)

<FY07実績 →今回見通し>



卸供給 +5.1% (+93百万m³)
 ・供給先事業者の新規需要開発および既存顧客の稼働増

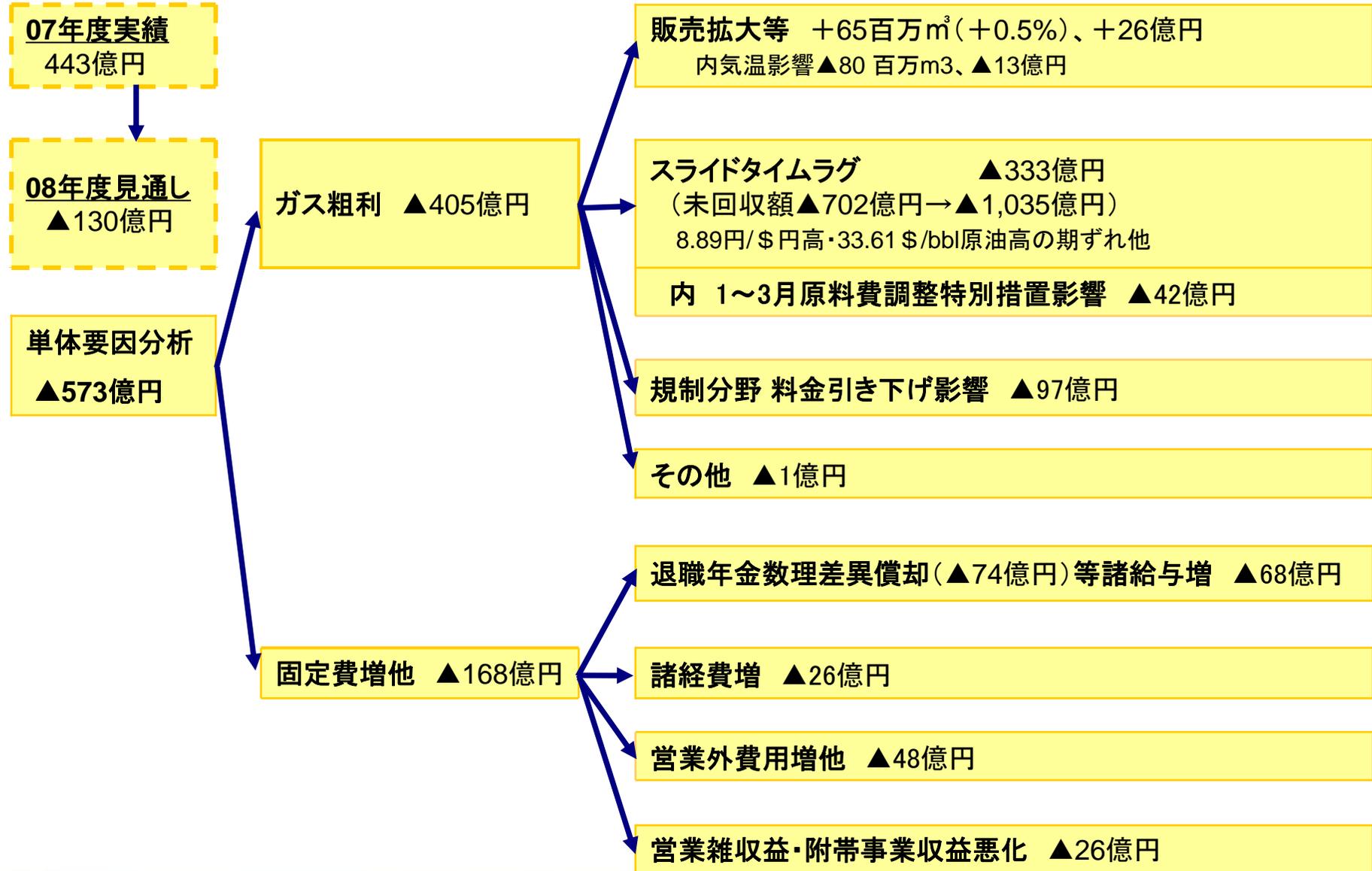
商業用その他 ▲3.0% (▲95百万m³)
 ・夏場の低気温による空調需要の減
 ・前年冬場の低気温による空調需要反動減

工業用 +4.5% (+260百万m³)
 ・新規顧客の稼働開始および既存顧客の順調な稼働

家庭用 +0.7% (+23百万m³)
 ・お客さま件数の増
 ・夏場の低気温による給湯需要の増

(45MJ/m³)
 (百万m³未満四捨五入)
 ※()内は前年同期増減

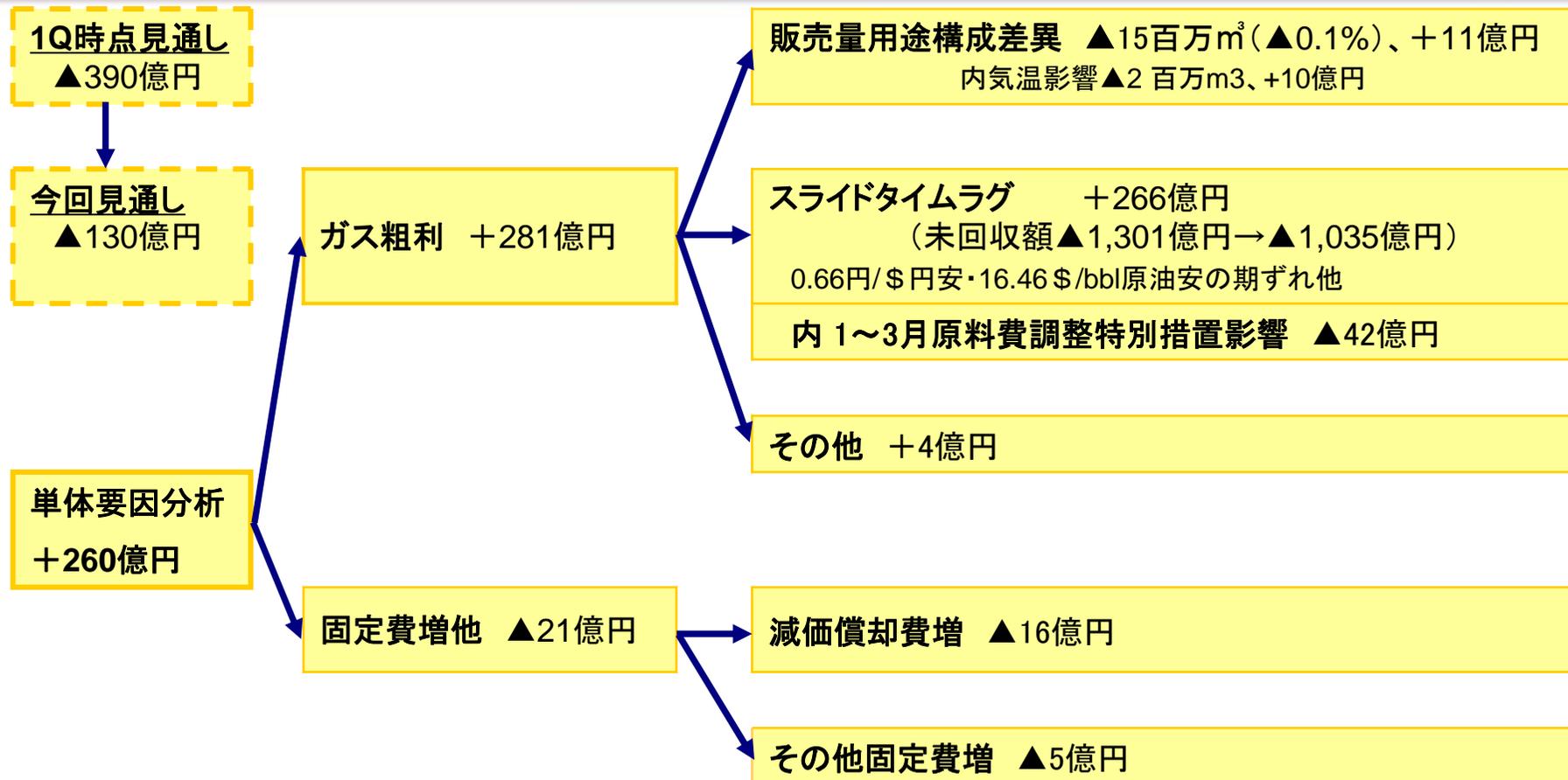
単体 2008年度経常利益見通し 対前年実績増減要因分析



参考資料



単体 08年度経常利益見通し 対第1四半期時点見通し比増減要因分析



経済フレーム	原油価格	為替
今回見通し	112.32\$/bbl	105.55円/\$
第1Q時見通し	128.78\$/bbl	104.89円/\$
増減	▲16.46\$/bbl	+0.66円/\$

主要計数表(第2四半期)

(億円)	FY08第2Q 実績	FY07中間 実績	対前期
売上高	7,400	6,369	+1,031 (+16.2%)
営業損益	▲95	331	▲426 (▲128.8%)
経常損益	▲114	317	▲431 (▲136.1%)
中間 純損益	▲16	198	▲214 (▲108.4%)
EPS(円)	▲0.63	7.41	▲8.04
TEP	▲294	▲1	▲293
ガス販売量 (百万m ³)	6,730	6,466	+264
原油(\$/bbl)	119.64	67.93	+51.71
為替 (円/US\$)	106.12	119.40	▲13.28

(億円)	FY08第2Q 実績	FY07中間 実績	対前期
総資産(a) *	17,672	17,036	+636
自己資本(b) *	7,373	7,690	▲317
自己資本比率(b)/(a) *	41.7%	45.1%	▲3.4%
有利子負債残高 (c) *	6,765	5,587	+1,178 (+21.1%)
D/Eレシオ(c)/(b) *	0.92	0.73	+0.19
営業キャッシュフロー (d)+(e)	651	899	▲248 (▲27.5%)
中間純利益(d)	▲16	198	▲214 (▲108.4%)
減価償却(e)	668	701	▲33 (▲4.6%)
設備投資	627	560	+67 (+12.0%)
ROA	▲0.1%	1.2%	▲1.3%
ROE	▲0.2%	2.5%	▲2.7%

(注1) EPSの分母は期中平均株数

(注2) * 印前年同期は2008年3月末数値を表示

(注3) ROA=当期純利益/総資産(期首・期末平均)、ROE=当期純利益/自己資本(期首・期末平均)

主要計数表(通期見通し-①)

(億円)	FY08 今回見通し	FY08 第1四半期時 見通し	FY07 実績	対第1四半期 時見通し	対前期
売上高	17,810	18,020	14,874	▲210 (▲1.2%)	+2,936 (+19.7%)
営業損益	100	▲170	700	+270 (-%)	▲600 (▲85.7%)
経常損益	40	▲230	668	+270 (-%)	▲628 (▲94.0%)
当期純損益	90	▲70	424	+160 (-%)	▲334 (▲78.8%)
EPS(円)	3.40	▲2.66	15.94	+6.06	▲12.54
TEP	▲378	▲542	17	+164 (-%)	▲395 (▲2323.5%)
ガス販売量 (百万m ³)	14,497	14,527	14,215	▲30 (▲0.2%)	+282 (+2.0%)
原油(\$/bbl)	112.32	128.78	78.71	▲16.46	+33.61
為替(円/US\$)	105.55	104.89	114.44	+0.66	▲8.89

(注) EPSの分母は期中平均株数

主要計数表(通期見通し-②)

(億円)	FY08 今回見通し	FY08 第1四半期時 見通し	FY07 実績	対第1四半期時 見通し	対前期
総資産(a)	18,000	18,150	17,036	▲150 (▲0.8%)	+964 (+5.7%)
自己資本(b)	7,790	7,680	7,690	+110 (+1.4%)	+100 (+1.3%)
自己資本比率(b)/(a)	43.3%	42.3%	45.1%	+1.0%	▲1.8%
有利子負債残高(c)	6,690	6,790	5,587	▲100 (▲1.5%)	+1,103 (+19.7%)
D/Eレシオ (c)/(b)	0.86	0.88	0.73	▲0.02	+0.13
営業キャッシュフロー (d) + (e)	1,500	1,340	1,849	+160 (+11.9%)	▲349 (▲18.9%)
当期純損益(d)	90	▲70	424	+160 (-)	▲334 (▲78.8%)
減価償却費(e)	1,410	1,410	1,424	- (-)	▲14 (▲1.0%)
設備投資	1,420	1,440	1,380	▲20 (▲1.4%)	+40 (+2.9%)
ROA	0.5%	▲0.4%	2.5%	+0.9%	▲2.0%
ROE	1.2%	▲0.9%	5.4%	+2.1%	▲4.2%

(注) ROA=当期純利益/総資産(期首・期末平均), ROE=当期純利益/自己資本(期首・期末平均)